よねだところどころ

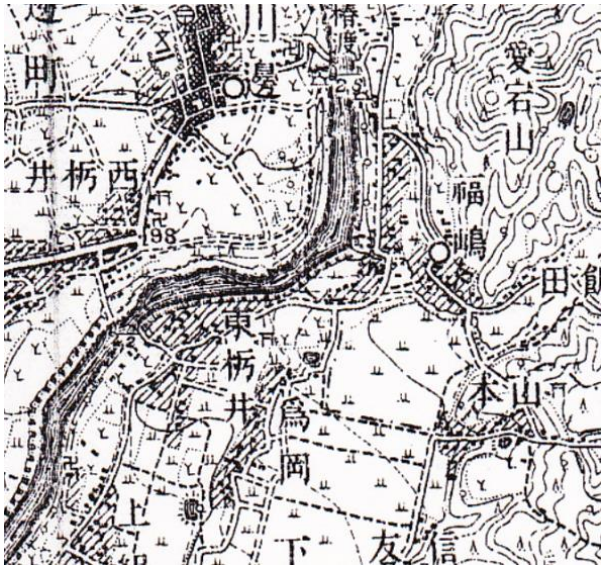
第四十一号

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

東栃井　津田左右吉博士の育った家とその跡

津田左右吉生家（東栃井）
美濃加茂市民ミュージアム 所蔵

写真上は、美濃加茂市民ミュージアム所蔵の津田左右吉氏が幼少期を過ごした家屋である。その下の写真はその跡地に建立されている記念碑である。上記写真には生家とあるが、当時のことは良くわからないので、「生育の家」とした方がよさそうである。この家の背後に映っているのは「愛宕山」いわゆる「米田富士」で、この麓に文明小学校があり、小学生時代を過ごした。ちなみに、この家は現在下米田連絡所と小学校の間に修復移築されており、津田左右吉の資料も展示されており、見学が可能となっている。　左上は明治末期の地形図である。左右吉がこの辺りで生活したのは明治の初期であり、初期と末期でも、大きな差異はないと思われるので少し状況を説明する。



西栃井との間には渡船がみられ、川辺のダムもみられない。現在はダムがあるが、このダムの堰堤の上には歩道がつくられており、歩いて川辺へ行くことができるが、これは東西栃井の古くからのつながりが反映しているものと思われる。当時川辺の福島に小学校があったため、学校へは飛騨川左岸の段丘崖の縁を東へ行き、飯田川を渡って、愛宕山の麓まで通学したが、父の籐馬も一時期小学校に勤めていたとされるが、父と一緒に左右吉が通学したどうかはよくわからない。東栃井の東端には「天満神社」があり、父は毎日、左右吉は通学の折に必ず参拝をしたと記されている。父子ともに道真にあやかり学問の成就を願ったものと思われる。